

行政評価シート（事務事業評価）		評価年度	26年度
事業名	地域子育て支援センター運営事業	担当課	福祉課
細分化した事業名			

1 計画(PLAN):事務事業の計画的位置づけ

第6次長期総合計画での目的体系	基本方向	将来を担う子どもをのびのび育むまちづくり	
	政策	子どもを安心して生み、育てられる社会の実現	
	施策	子育て支援の充実	
関連する個別計画等	葦崎市次世代育成支援地域行動計画	根拠条例等	葦崎市地域子育て支援センター設置及び運営要綱

2 計画(PLAN):事務事業の概要

事業の目的	<p>子育てを地域全体で支援する環境の整備を図り、多様な子育て支援事業を推進することにより、子育て家庭の福祉の増進に寄与するため、平成13年4月藤井保育内に開設、平成23年9月新たに、葦崎市民交流センター内に葦崎市子育て支援センターを開設しました。</p> <p>子育て家庭の交流の機会及び場所の提供、子育て支援情報の収集及び提供、相談及び講座の実施、子育てサークル等の育成及び支援などを行い、乳幼児を持つ保護者（母・父）を対象に、各種事業を通じて、楽しい子育てをサポートしています。</p>
事業の手段	<p>「NPO法人ちびっこはうす」を指定管理者に選定し運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開館日 火曜日～日曜日・祝祭日 ・子育て支援事業の展開（子育て相談・遊び場の提供ほか各種イベントの開催） ・子育てサークルの育成・支援（保護者の交流会・子育て講座の開催等） ・メールマガジンによるイベントのお知らせ等
事業の対象	0歳から6歳までの乳幼児とその保護者、兄弟、同伴者

3 実施(DO):投入費用及び従事職員の推移(インプット=費用+作業)

		23年度	24年度	25年度
A	事業費 (千円)	32,475	20,053	20,053
財源内訳	国・県支出金	24,301	5,935	6,714
	その他(使用料・借入金ほか)			
	一般財源	8,174	14,118	13,339
B	担当職員数(職員E) (人)	1.00	0.32	0.35
C	人件費(平均人件費×E) (千円)	6,819	2,140	2,272
D	総事業費(A+C) (千円)	39,294	22,193	22,325
主な事業費用の説明		指定管理料 20,053千円		

注)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した、23年度(6,819千円)、24年度(6,687千円)、25年度(6,491千円)を使用しています。

4 実施(DO):事業を数字で分析(アウトプット=事業量)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			23年度	24年度	25年度
活動指標	1 子育て相談	相談受付件数 H23は9月～以下同じ	39件	87件	194件
	2 遊び場の提供	施設利用者数（一般来館者を除く）	25,519人	43,532人	41,497人
	3 イベントの開催	開催回数	113回	311回	605回
妥当性		<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当である <input type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない			
上記活動指標と妥当性の説明	1	0歳児は食事と体の発達、1歳児はしつけや生活習慣、2歳児は人とのかかわりや言葉の相談など、年齢や環境によって異なる相談業務に相談しやすい環境を作りながら対応している。			
	2	屋内の公園をコンセプトに整備された施設で遊びの場を提供している。屋内遊具も各種取り揃えている。休日や夏休みなどの長期休暇時は、入場制限が必要となるほど盛況である。			
	3	小学生から高校生まで赤ちゃんを抱っこするイベントや、カウンセラーや助産師・食育アドバイザーなどを招いての講座、各種交流会やリフレッシュ講座などを行っている。			

5 評価(CHECK): 事務事業評価 (アウトカム=成果・効果)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			23年度	24年度	25年度
成果指標 もしくは まちづくり 指標	1	子育て相談数 相談数対前年比 194件/87件		前年実績半年 比較しない	231%
	2	遊び場の提供 施設利用者数対前年比 41,497人/43,532人		前年実績半年 比較しない	95%
	3	イベントの開催 (参加者数) イベント開催数対前年比 605回/311回		前年実績半年 比較しない (11,322人)	194% (15,142人)
成果		<input checked="" type="checkbox"/> A 上がっている <input type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C 上がっていない			
上記指標の妥当性と 成果の内容説明	1	相談件数は各段に伸びている。施設利用者にもリピーターも多く、職員との信頼関係が構築されてきた成果と考える。			
	2	施設利用者数については、安全確保の観点から月末に休館日(清掃・施設点検のため)を設けたことや休日や夏休みなどの長期休暇時は、入場制限を行っていることからやむを得ないものと考えます。			
	3	イベントによってはスペースの関係で、1日に複数回に分けて行うなどの工夫をし、より多くの利用者が参加できるよう務めている。			

事務事業総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C 期待以下の達成
----------	--

6 改善(ACTION): 今後の事務事業の展開

今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 拡大(コストを集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善(事務的な改善を実施する) <input type="checkbox"/> 全部改善(内容・手段・コスト・実施主体等の見直しが必要) <input type="checkbox"/> 廃止(廃止の検討が必要) <input type="checkbox"/> 縮小(規模・内容を縮小、又は他の事業と統合する)
事務事業の改善案	改善の概要・方向性(いつまでに、どういう形で具体化するのか)
	26年度の改善計画(今後の事業展開説明) 施設開設後2年半余りが経過し、施設・遊具の改修が必要な箇所が出てきたため今年度改修する。運営については、今年度は土曜日・休日は利用者が非常に多いので公園施設としての利用に重点を置き、安全管理を主眼に置いた職員配置とした。相談業務・イベントは原則実施しないこととした。
過去の改善経過	平成13年4月事業採択、藤井保育内に開設→平成23年8月末廃止 平成23年9月葦崎市民交流センター内に葦崎市子育て支援センターを開設
課長所見	期待を大幅に上回る効果が得られている。 利用頻度が想定以上のため、遊具等の急速な劣化や混雑時の安全確保が新たな課題となっている。